

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」所沢校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションで区切っている。 ・利用者の特性や課題に応じたスペースの確保ができていると思う。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・支援の担当者だけでなく、職員全員で子どもの様子を見守るようにしている。 ・急に休みの職員が出た時の心配はある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・現状大きな問題はないが、より良い環境づくりの検討をし続ける必要がある。 ・入口前のタイル部分は段差があるが、建物の構造上改善は難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・様々な業務に関して、目標設定と振り返りを行い、改善につなげている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろのフィードバックやアンケート等で保護者の意向を聞くようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価が行われる機会があると良い。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎月研修があり、支援に活かしている。 ・年間の研修スケジュールのもと、各種社内研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ミーティングにおいて、職員間で情報共有をしている。 ・職員間で話し合い、客観的に子どもや保護者のニーズ、課題を分析できていると思う。 ・半年に一度、アセスメントを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ミーティング等で話し合いながら立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題点や保護者の要望を基に適宜プログラムの変更を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状況やニーズに合わせて支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動が中心だが、イベント等で集団活動もやっている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼で確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・気付いた点があれば、支援終了後や翌朝、職員間で共有している。 ・週1回程度の事業所内ミーティングで、利用児童の情報を共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援後の記録入力と、不備がないかの確認を徹底し、適切な記録保存を心がけている。 ・支援中の子供の様子について正しく記録し、支援の改善に役立っている。	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・利用時に応じて発達・成長の度合いが変わっていくので必要なことだと認識している。 ・半年に一度、必ずモニタリングを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・子どもや保護者のニーズに合わせた支援が中心だが、その他の活動も取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	○		・保護者や学校から要望があれば連携している。 ・送迎をしていないため、学校との直接的な情報共有の機会は少なく、保護者を通じて行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		・医ケア児受入れなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		・就学前から利用があれば、そのまま情報を引き継いでいる。必要があれば、保育所等や他事業所とも連携する。 ・直接的なやりとりは少なく、保護者を通じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		・今後、子どもや保護者、事業所等から要望があれば連携する。 ・直接的なやりとりは少なく、保護者を通じて行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	・機会がない。今後あると良い。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				・できるだけ参加している。 ・今年度は協議会の内容を踏まえ、2か月に1回の頻度で参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・支援後のFBやモニタリング時に学校や家庭での様子を聞き、子どもの発達や課題を共通で理解するようにしている。	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今後は研修等を受け、そのような支援を行なう体制をつくれたら良いと思う。 ・日々の支援のFBや事業所内相談を通じて行っている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、運営規定や支援内容の変更時に随時行っている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として、子育て相談に対して助言を行っている。 ・日ごろのFBや事業所内相談等で、子どもの発達や子育ての悩みについて話を聞くようにしている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった際は、迅速に対応し、子どもや保護者に丁寧に説明をして、状況改善に努めている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNSで支援や教室の様子を発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・当たり前で大切なことと認識をしたうえで、十分に注意して取り扱っている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に合わせて意思の疎通の仕方を配慮している。保護者とも、直接話だけでなくLINEや電話を活用している。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員で共有できている。 ・マニュアルがあり、職員間や、必要に応じて保護者にも共有している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員で共有できている。 ・災害別に避難訓練を行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員で共有できている。 ・定期的に虐待防止研修を行っている。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員で共有できている。 ・身体拘束については、職員間で共通の認識をもち、保護者にも丁寧に説明している。 ・会社で指針を作成している。個別支援計画に注釈で記載している。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例を作成してまとめ、職員間で共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」所沢 校

保護者等数（児童数）：47 回収数：42 割合：89.3 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	37	4		→パーティションを使用することで、利用児にあった支援空間を提供している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	34	8		ばらつきを感じる。 →利用児や保護者のニーズを満たす支援が提供できるよう、自己研鑽に努める。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	19	4	不要。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	40	1		→事前の面談で丁寧に話を聞き、利用者のニーズを満たす計画作成に努める。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	31	10		→支援後のFBを活用しながら、柔軟性に富んだ支援が提供できるよう工夫を重ねていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	20	15	行っているのか分からない。 →現状、そのような機会はない。要望があれば対応を検討する。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41			→契約時に説明をし、用紙をお渡ししている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41			→支援後のFBを通して、利用児に対しての共通理解を図っている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	2		→計画変更時の面談や事業所内相談等を活用し、要望があれば対応している。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	17	1	行っているのか分からない。 →今年度は企画したが、実施にはいたらなかった。今後、要望があれば開催を検討する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	12		→苦情受付体制について契約時に説明している。何かあれば、速やかに対応するよう心掛けている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	2		→支援後のFBやLINE・電話を活用した丁寧な情報伝達を心がけている。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30	10	1	発信しているか分からない。 →LINEのメニューから教室のSNSを閲覧できるようにしている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	37	3		→法令等に則り、十分に注意して取り扱っている。

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	6	2	→各種マニュアルが閲覧できるようにする。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	13	4	対応してるか分からない。 →契約時、災害発生時の対応について説明をし、用紙をお渡ししている。また、定期的に避難訓練を実施している。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	26	12		→利用児が楽しみながら活動できるよう、支援内容や提供方法の工夫を重ねていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	33	6		集団活動の日を増やしてくれると嬉しい。 →今後も小集団イベントの企画を継続しながら、利用児の成長を促す支援を提供できるよう工夫を重ねていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。